

第35回 交流会

外国ルーツの子どもを支えるということ — 大学生サポーターのまなざしから

現在、学校現場では外国ルーツの子どもたちが増え、それぞれが安心して学び、成長していける環境づくりが模索されています。言語文化教育に携わる私たちを取り巻く状況も、その変化のただ中にあるのではないでしょうか。

そこで第35回交流会では、ひとつの事例として「大学生サポーターによる子ども支援」に目を向けています。今回は、大学生のときに子どもの支援に関わってきたサポーター2名をお迎えし、小学校での学習支援や休み時間の交流、異文化を伝える活動などを通して得られた喜びや手応え、そして支援に伴う難しさや葛藤について語っていただきます。

その語りをもとに、サポーターだからこそ担える役割や支援の限界、学びの場における多様性の尊重について、参加者のみなさまとともに考え、語り合う時間にできればと思います。

日 時

2025年12月6日(土)
午前10:00～11:30 (日本時間)

会 場

オンライン(Zoom)

※ ログイン方法は申し込み受付後に通知します。

参加資格

- 参加費無料／会員・非会員問わずどなたでも参加できます。
- 当日は、すべての時間(10:00-11:30)の参加をお願いします。
- ウェビナーではありません。グループ対話時は、画面オン、ミュート解除をお願いします。

◆申し込み方法◆

お申し込みは、[こちら](#)からお願いします。



【定員】20名程度

【締切】2025年12月3日(水)

★先着順／定員に達し次第締切

お問い合わせ

言語文化教育研究学会 交流委員会
interact@alce.jp

どなたでもお気軽にご参加ください！